

2022 年 3 月 30 日

公益財団法人 日本セーリング連盟

【会見出席記者配布用】

## 障がい者セーリングとインクルーシブセーリングの国際大会を同時開催 東京五輪を経てインクルーシブ社会への貢献を加速 岸田首相からのメッセージ動画公開

公益財団法人日本セーリング連盟は、3月30日、障がい者セーリングとインクルーシブセーリングのふたつの国際大会が広島観音マリーナで同時開催されることが決定したことを発表しました。開催日程は2022年10月20日～23日。大会のひとつはパラリンピック競技として障がい者をクラス分けして競い合うパラセーリング。もうひとつは、障害の有無や程度、性別や年齢に関わらず同じレースを競い合うインクルーシブセーリングで、インクルーシブ社会の急速な進展に伴い世界で普及が進む種目です。

相反する性格を持つふたつの大会の同時開催は、東京オリンピック・パラリンピック大会が掲げた多様性と包括を更に推し進める位置づけとなり、アジアで初めての開催となります。

開催にあたり、日本セーリング連盟は本日、馬場益弘会長が湯崎英彦・広島県知事及び松井一實・広島市長を訪問の上、現地で記者会見を行いました。会見ではかねてから同活動に賛同する岸田文雄首相からのメッセージを公開しました。

### 【大会概要】

大会名称	2022 ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ& パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島
開催期間	2022年10月20日(木)～23日(日)
会場	広島観音マリーナ(レース海面 広島観音マリーナ沖) 広島市西区観音新町4丁目14番6号 <a href="http://www.jsaf.or.jp/hiroshima/">http://www.jsaf.or.jp/hiroshima/</a>
共同開催	ワールドセーリング、国際ハンザクラス協会、日本ハンザクラス協会 公益財団法人日本セーリング連盟
大会運営	公益財団法人広島県セーリング連盟
参加(予定)	選手:世界10か国以上から約120人 ボランティア:約200人
競技種目	ハンザクラス 2.3(シングル)・303(シングル&ダブルス)・リバティ
大会HP	<a href="https://hansaclass-hiroshima.com/">https://hansaclass-hiroshima.com/</a> (3/30 17時頃公開予定)
問い合わせ先	Media.HansaHiroshima2022@jsaf.or.jp

### 【ハンザクラスとは】

大会の使用艇「ハンザ」は、障がいの有無や程度、性別や年齢に関わらず、誰もが一緒に楽しめるヨットで、世界 27 か国に約 3000 艇、日本には約 300 艇が普及。健常者も共に競い合うパラスポーツは他に例がなく、世界的なインクルーシブ社会の進展の中で改めて注目を集めている。

### 【大会の意義】

ハンザクラスでは、障がいの有無や程度に関わらず全員一斉にスタートをする。船によっては重度の障がい者への補助器具を取り付けることもある。例えば、四肢麻痺のアスリートは息を吹き込むことで操船が可能となる。数々の国際大会で健常者と障がい者は五角の戦いをし、障がい者が優勝することも多い。身体能力よりも風や潮など自然の力を利用して戦略を立てることが勝敗の鍵となるからだ。公平な競争環境を作った上で全ての人の参加を促すハンザの理念は、世界で広がる「ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン( DEI)」の動きと一致。日本セーリング連盟は、この競技の普及を通して多様な人々が交流し、共生社会構築の一助とすることを目指す。

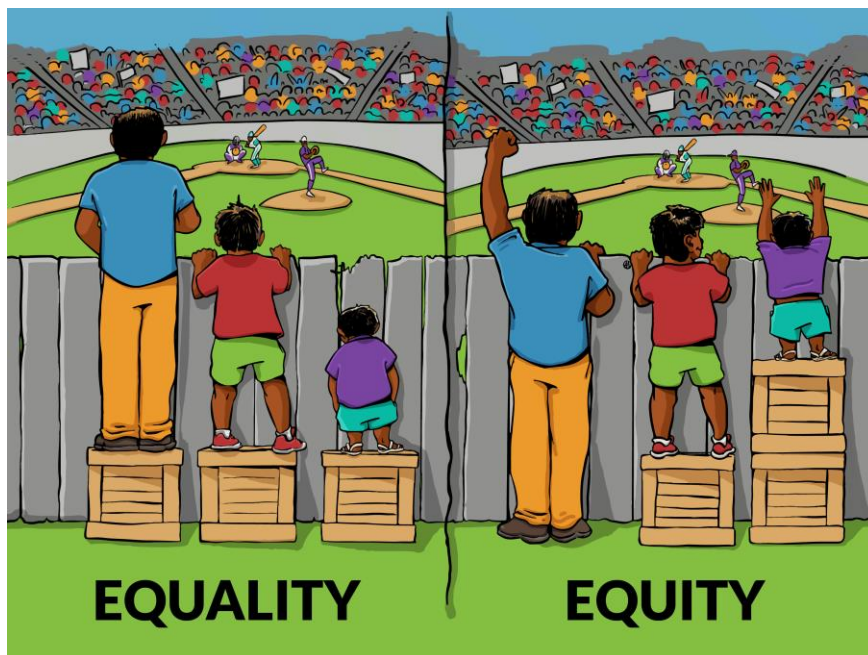
### 【DEI とは】

「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)」と呼ばれていた動きは、欧米を中心に「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン」に変わりつつある。機会を平等に提供するだけでは解決できない社会構造的な不平等が認識されたのが背景。国内でも ESG を意識する企業を中心に DEI の動きは加速している。

D = Diversity バイバーシティ(多様性:あらゆる違いを尊重しあうこと。)

E = Equity エクイティ(公平性:不平等なスタート地点を認識し、不均衡を是正して公平にすること)

I = Inclusion インクルージョン(包括性:誰もが歓迎、尊重され、参加できる環境であること。)



出所: “Interaction Institute for Social Change | Artist: Angus Maguire.”

### 【同時開催でのレース】

パラリンピックが障害の程度に応じたクラス分けを適用していることから、今回のレースでは障害者も健常者も出場するレースの結果から、健常者も含めたオープン大会である「ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ」の順位を決め、同時に事前のクラス分けに応じたパラリンピック規定による順位を決定する。

### 【パラリンピック】

セーリングは1996年のアトランタ大会にパラリンピックのデモンストレーション競技として採用され、2000年のシドニー大会から2016年のリオ大会まで公式種目だった。東京大会と次のパリ大会では実施されないことが決まっているが、2028年のロサンゼルス大会での復活を目指している。

### 【広島での開催】

国際平和祈念都市広島では、20年余に渡りハンザクラスの普及活動を行ってきた。2018年にはハンザクラスのワールドチャンピオンシップを開催している。

### 【岸田文雄首相からのメッセージから抜粋】

若者も高齢者も、障がいのある方も男性も女性も全ての人が生きがいを感じられる、多様性を尊重される社会を目指すことは国際社会共通の課題であり、岸田内閣としても最も重要な取組であり、今大会は大変意義深いことだと思っています。広島の風光明媚な瀬戸内海の会場を舞台に、世界から多くの参加者が集い、懸命に技を競い合う、命輝く姿が人々に感動と勇気を与え、日本の多様性が尊重される社会が進展し、また、広島から世界への平和の発信が行われることを確信しています。

### 【日本セーリング連盟から】

自然の風の力を利用したパラ・セーリングスポーツは、共生社会を創る「新しいスポーツの力」となっています。多様性を認め合う共生社会の構築は戦争のない平和な社会を作ることになります。

この2つの国際大会が、国際平和祈念都市広島で同時開催され、世界に発信されることは新型コロナ感染症時代を経て、新しい時代を切り開く人々に勇気と夢をあたえてくれるものと確信しています。

### 【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

Media.HansaHiroshima2022@jsaf.or.jp

---

公益財団法人 日本セーリング連盟

<https://www.jsaf.or.jp/>

Follow us on Facebook/Twitter @JSAF.official